



～ 新しいまちの暮らし
スーパースマートシティ
うつのみや 始動 ～

MIYA
NAVI
2023



うつのみやの実力

住んでよし、働いてよし、宇都宮市は100年先も
持続可能な都市として高く評価されています。

共働き子育てしやすい街

共働きをする際に必須となる「施設の充実」・「少子化対策への強化」の
2点に注目し、計 45 評価項目によりランキングを集計。

人口 20 万人以上の 165 市区中

第 5 位

日経 xwoman × 日本経済新聞社「自
治体の子育て支援制度に関する調査」
2022 年版（共働き子育てしやすい街
ランキング）より、人口 20 万人以上の
都市の計 180 自治体のうちの回答が
あった 165 自治体を対象

住みよさ度

「安心度」・「利便度」・「快適度」・「富裕度」の 4 項目 20 指標（子ども医
療助成費、財政力指数など）を採用。

人口 50 万人以上の 27 市中

第 3 位

東洋経済新報社
「都市データバック 2022 年版」より
人口 50 万人以上の 27 都市を対象

財政健全度

「収支」・「弾力性」・「財政力」・「財政基盤」・「将来負担」の 5 項目 20
指標（将来負担比率・財政力指数など）を採用。

人口 50 万人以上の 27 市中

第 4 位

東洋経済新報社
「都市データバック 2022 年版」より
人口 50 万人以上の 27 都市を対象



夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」

「スーパースマートシティ」とは…

100 年先も発展し続けるまちの姿である
「ネットワーク型コンパクトシティ」(NCC) (※ 1) を土台に、

地域経済循環社会

地域共生社会

脱炭素社会

の 3 つの社会が、「人」づくりの取り組みや「デジタル」技術の活用によって発展する

「夢や希望がかなうまち」です。



※ 1 ネットワーク型コンパクトシティ (NCC)
中心市街地やそれぞれの地域拠点、産業、観光拠
点にまちの機能を集約し、それらを利便性の高い
公共交通などで連携した都市

↑ スーパースマートシティについて
詳しくはこちら！

宇都宮市は、
「スーパースマートシティ」の実現に
向けて、「**オール宇都宮**」
で取り組んでいくよ!!



人・モノ・情報が行き交う
「**地域経済循環社会**」

絆を深め、共に支え合う
「**地域共生社会**」

CO₂ 排出量を実質ゼロとする
「**脱炭素社会**」



住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA



子育てにやさしいまち うつのみや

人 共生

安心して出産・子育てができる環境

宇都宮市は、子育て家庭が愛情を持って子どもを生み育て、
子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、全力で応援します。



妊娠から出産まできめ細かな支援を行っています！

安心してお子さんを産み育てていただけるよう、不妊治療費助成、妊産婦さ
んへの医療費の助成（自己負担なし）や妊産婦健康診査の 16 回分（妊婦 14 回・
多胎妊婦は上限なし、産婦 2 回）の助成、妊娠 8 か月を迎える妊婦への全数面
接の実施と併せて本市独自の 3 万円の支給などによる経済的支援をするこ
とにも、産後におけるケア事業を行っています。

こども医療費の無償化で子どもの健康を応援します！

高校 3 年生相当 (18 歳) までのお子さんが、栃木県内の医療機関等を受診し
た場合に、健康保険が適用となる医療費（自己負担分）の窓口での支払いが不
要です。

年間を通した待機児童ゼロを達成します！

保育を必要とする全ての子育て世代が、保育園などに入所できるよう、宇都
宮駅周辺で送迎保育ステーション事業の実施など、保育サービスの充実に取り
組んでいます。

お子さんが病気の時でも安心！『病児保育送迎サービス』

保育園などで体調不良となったお子さんを、保護者の代わりに迎えに行き、病児保
育施設でお預かりします。（要事前登録）

子育ての強い味方！『宮っこ子育てアプリ』

妊娠・出産・子育ての記録ができ、市の子育て情報を受け取る「宮っこ子育て
アプリ」を配信しています。とちぎ笑顔つぎきカードの券面がスマートフォンの
画面で表示できるなど、とっても便利です。ぜひご活用ください。



お子さんの情報を
一元管理できる
家族共有機能もあるよ!!



ダウンロードは
こちらから



学びをつなぐ うつのみや

人 共生

小中一貫教育・地域学校園

小中学校の学びをつなぐとともに、学校間の連携や地域の教育力を生かして
子どもを育てる「小中一貫教育・地域学校園」を実施しています。

小中一貫教育カリキュラム

各教科等をはじめ、「宮っこ心の教育」「宮・未来キャ
リア教育」「元氣アップ教育」において、義務教育 9 年間
を通した系統的な指導を行っています。また、小学校 1
年生から独自に英語の授業を行い、ALT と一緒に楽し
んで学ぶことを通して、英語によるコミュニケーション
能力を育んでいます。



宇都宮学

宇都宮の「過去」「現在」「これから」の 3 つの視点をつないで学ぶ「宇都宮学」
の授業を実施し、児童生徒の郷土への愛情や誇りを育てています。

宇都宮の「過去」を学ぶ

過去から現在に至るまでの歴史を学び、先人た
ちの思いや苦勞、知恵や工夫について理解すること
を通して、郷土への愛情を育みます。



宇都宮の「現在」を学ぶ

現在ある宇都宮の良さや魅力を発見し、発信する
活動を通して、郷土への誇りをもてるようにしま
す。



宇都宮の「これから」を学ぶ

宇都宮市が抱えている課題やそれらを解決する
ために行っているまちづくり等について理解し、こ
れからの宇都宮について考える活動を通して、未
来を切り拓き、将来の宇都宮を支える宮っこを育みま
す。



全小中学校体育館に空調機器を設置

児童生徒の健康を守るとともに、適切な教育環境を確保することなどを
目的として、全小中学校の体育館に空調機器を設置しました。

＜全国トップクラスの教育環境の整備＞



MICEによる交流と賑わい

経済

「ライトキューブ宇都宮」OPEN

令和 4 年 11 月、JR 宇都宮駅東口地区にコ
ンベンション施設「ライトキューブ宇都
宮」がオープンしました。

2000 人収容可能な大ホールをはじめ、多様
な諸室で構成され、学術会議や展示会、音
楽コンサートなど、様々な「MICE」が開催できる施設です。



「MICE」とは

M Meeting
I Incentive
C Convention
E Exhibition
Event

広域かつ域内から、多くの集客・交流が見
込まれるビジネスイベントの総称を指しま
す。「MICE」の開催を通じ、「人・もの・情報」などの更なる交流や賑わい
の創出により、本市の地域経済の活性化につなげてまいります。

全国から選ばれる 「交通未来都市うつのみや」を目指して

NCC



全国初！全線新設の LRT 整備

時間に正確で輸送力の高い LRT を東西の基幹公共交通として整備します。

バス路線の再編

LRT と運行経路が重複するバス路線を、公共交通空白地域を運行する路
線や LRT と接続する路線などとして新設・経路変更します。

地域内交通の充実

地域を面的にカバーする地域内交通をトランジットセンターなどの停留場
に接続します。

子どもから高齢者、障がい者など

誰もが安全で快適に移動できる公共交通ネットワークを
構築します。



「MOVE NEXT UTSUNOMIYA」 乗らないなんて『もったいない』

NCC

全国初の全線新設となる「LRT」の開業など、市内の公共交通が「つく
る」ステージから「つかう」ステージへ移行するこのタイミングをとら
え、将来に向けて、日常生活に必要な不可欠な移動手段である「公共交通」
を皆さんに「見て・触れて・体験いただく」ため、運賃負担軽減施策や利
用環境整備の充実など、様々な利用促進策を実施します。

運賃負担軽減サービス で公共交通をもっと便利に

『どこから乗っても乗り継いでも街ナカまで 500 円以内』

日中の時間帯におけるバス 1 乗車あたりの運賃の上限を 400 円とする「バスの上
限運賃制度」やバスと地域内交通を乗り継いだ際の運賃を割り引く「乗継割引制度
(totra※利用時)」を実施しています。

『どこから乗ってもどこまで行っても 500 円以内』

今後は LRT の開業に合わせ、LRT とバス、LRT と地域内交通間の乗継割引
制度の拡大に加え、さらなる運賃負担軽減サービスを実施し、市内をより自由に負
担感なく移動できる交通環境の実現を目指します。



全国初の地域連携 IC カード！

どこから乗っても
街ナカまで
500 円 以内
小学生などは 250 円

※市内の鉄道・LRT・バス・
地域内交通の全てを利用
できることはもとより、公
共交通利用時に貯まる「交通
ポイント」や高齢者を対象
とした「福祉ポイント」な
どの地域独自サービスを受け
ることができる全国初の地
域連携 IC カードです。

「自転車のまち うつのみや」で公共交通も便利に

誰もが安全で快適に自転車を利用でき、鉄道
やバスまでの移動手段としても利用しやすいよ
う、自転車走行空間の整備をはじめ、駅やバス
停周辺に駐輪場を整備するほか、レンタサイク
ルの設置や自転車利用者が休憩できるスポット
として「自転車の駅」を設置しています。



バス停付近の駐輪場の例